



三滝の心を持って143名が卒業

3月7日(火) 第76回卒業証書授与式

今年は、保護者の方々だけではなく、地域学校関係者の一部の方々にもご臨席いただき第76回三滝中学校卒業証書授与式を挙行了しました。

「人を大切にする」三滝の心をもった143名が晴れやかに、すがすがしく巣立っていきました。今年度の卒業生を加えて、本校の卒業生は、総勢12,711名となりました。



3年間コロナ禍の多くの制約の中で過ごしてきた彼らでしたが、常に前向きに頑張りを続け、たくさんのお話を学び、立派に成長してきました。生徒のマスクの着脱は、個人の判断としました。合唱は、マスクをして高らかに歌ってくれました。

答辞では、

「学校に通えることがあたり前ではないことを初めて感じた。」

「3年間を共に過ごし、苦しい時も一緒に乗り越えてきた。マスク越しでも笑いあえた。」

「失敗は私たちが幸せになるための材料です。」

「それぞれの明るい道を進んでいきたい。」

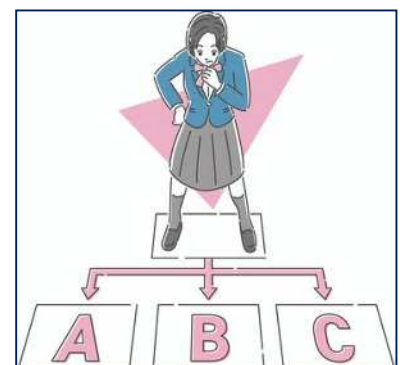
と、3年間を振り返り思いやがんだり、そして、未来への力強い決意が述べられました。

これから、ますます変化の激しく予想できない未来が待っています。様々な困難や問題にも直面することでしょう。卒業生には、そんな時に、一人で乗り越えたり、回避したり、あるいは、他人と協力して解決したりする力を、これからはもっと身に付けてほしいと願っています。たくましくしなやかに未来を切り拓いていってくださいね。

3月9日(木)県立高校入学試験(後期選抜)

いよいよ今年の入試シーズンのクライマックスです。たくさんの生徒が挑みました。143名全員の進路が無事に決まることを祈るばかりです。

近年、生徒の進路選択も、以前より多様になってきています。



生徒自身が、県立志向とか慣習・前例にとらわれず、県立高校、私立高校、国立高専、定時制、通信制、学科やコースなど、将来への目標や目的意識をもちながら、自分に適した選択あるいは、ニーズにあった選択ができています。「人生100年時代に合わせたキャリア」を積む意識も必要ですね。自分自身が、どんな意識で、何を、どこで、どうやって学ぶか。

1, 2年生のみなさんは、自分は、どんな力を伸ばしたいか、どんな技能を身に付けていきたいか、また、どんな学び方が自分にあっているかなどを考えながらこれからの中学校生活を過ごしてほしいです。2年生は、まさにその時が、1年後以内にやってきますよ。

3月9日(木) 学校保健委員会を開催

本校の医・歯・薬三師の先生方と健康面、保健衛生面、環境面などについて医療等視点から、課題点や改善案など細部にわたってアドバイスをいただきました。今後の学校生活を改善につなげます。(以下に、一部紹介します。)



- ・健診後のフォロー受診の割合がちょっと低いです。アナウンスをしてくださいね。
- ・歯を大切にしてもらえるように、歯磨きなど基本的なことを丁寧にしてください。
- ・コロナ感染症予防対策は、国や市の動向を見ながら、もう少し継続した方がいいですね。
- ・給食のアレルギー対応は、子どもたちも先生もしっかり準備してくださいね。
- ・(本校作成の「事故発生時等、緊急時の基本的対応の手引き」見直しから) 緊急時の教師連携を、さらに具体化していきましょう。 などなど

どうする？ コロナ感染症予防対策

◎ 3月13日(月) マスク着脱は、「個人の判断」となりましたが、四日市市教育委員会からは、「3月31日までの年度内における卒業式以外の学校教育活動においては、文科省のマニュアル等を踏まえつつ、従来通りとする。」と指示がありました。以下のことに気を付けつつ取り組みます。



- ★ **メリハリのあるマスクの着脱** (近接時、スペースや換気のない場所での会話や合唱等でつけたり、屋外や運動時等では外したり各自で判断してくださいね。)
- ★ 家庭での健康観察の継続 (検温や体調管理)
- ★ 換気、うがい、手洗いの徹底 など